

Recent history

『 近年の歩み 』

- ・提言書「高松に明日があるか」
- ・高松冬のまつり

提言書「高松に明日があるか」での意見が日本経済新聞に掲載されました。また、高松冬のまつりはこの頃から2007年まで継続事業として開催され、その後他団体へと事業継承しました。

インターネットが誕生
昭和から平成へ
瀬戸大橋開通

1980年代

- ・海外JCI姉妹提携調印
JCIフェニックス(台湾)
JCIチョナン(韓国)

まちの活性化の切り札として国際化に取り組みました。海外JCIとの交流により今日の高松のインバウンド活性化へ取り組みました。現在も両JCIとは姉妹JCIとして交流を継続しています。

- ・JCI ASPAC 高松大会
- ・教育実践事業の開始

当時県内過去最大規模である1万人規模の国際会議を実施しました。また、学校教育だけでは難しいところを地域も一体となって取り組む共育という考えのもと教育実践事業をスタートしました。

※ASPACとはJCI Asia Pacific Area Conferenceの略称。

日経平均株価がバブル後
最安値を記録
サンポート高松オープン

1990年代

バブル経済崩壊
阪神・淡路大震災が発生
高松市行政改革計画策定

- ・献血バスサポート事業
- ・飲食店ステッカー事業

コロナ禍での影響が大きいとされる医療・飲食事業者に対しての事業に取り組みました。医療事業者については献血活動を、飲食事業者に対しては店舗における感染症対策をステッカーに記載してあるQRコード読取にてコロナ対策の見える化に取り組みました。

新型コロナウイルス流行
全国非常事態宣言発令

2020年代

東日本大震災が発生
西日本豪雨災害が発生
瀬戸内国際芸術祭開始

2010年代

- ・わかもん商店街
- ・たかまつ国際夜市

わかもん商店街では学生の起業体験を通して商店街の活性化に取り組みました。また、たかまつ国際夜市ではインバウンド向けナイトコンテンツの拡充を通して外国人観光客の迎え入れへの意識醸成へ取り組みました。

